

令和元年 7 月 臨時教育委員会 会議録

日 時	令和元年 7 月 26 日 (金) 午前 9 時 30 分～午前 11 時 40 分
場 所	秦野市役所教育庁舎 3 階大会議室
出席委員	教育長 内田 賢司 教育長職務代理者 飯田 文宏 委員 高橋 照江 委員 片山 恵一 委員 牛田 洋史
欠席委員	なし
委員以外 の出席者	教育部長 佐藤 直樹 教育指導課課長代理 関野 貴之 教育総務課長 守屋 紀子 教育指導課指導主事 安藤 淳 教育指導課長兼 教育指導課指導主事 吉田 将 教育研究所長 近藤 順子 教育総務課課長代理 吉田 浩成 教育総務課主事補 岩田 浩貴
傍聴者	15 名
会議次第	7 月 臨時教育委員会 会議 令和元年 7 月 26 日 (金) 午前 9 時 30 分 場 所 秦野市役所教育庁舎 3 階大会議室 次 第 1 開 会 2 議 案 (1) 議案第 17 号 令和 2 年度に使用する小学校の教科用図書の採択 について (2) 議案第 18 号 令和 2 年度に使用する中学校の教科用図書の採択 について (3) 議案第 19 号 令和 2 年度に使用する学校教育法附則第 9 条によ る教科用図書の採択について 3 その他 4 閉 会
会議資料	別紙のとおり

内田教育長

ただいまより臨時教育委員会会議を開催します。
 お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。
 今回の会議は、議案第 17 号「令和 2 年度に使用する小学校の

教科用図書の採択について」、議案第18号「令和2年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」及び議案第19号「令和2年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について」の3本です。

教育指導課長兼
教育研究所長

まず、議案第17号「令和2年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」、提案理由の説明を事務局からお願いします。

それでは、議案第17号「令和2年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」の説明をいたします。

本議案は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項の規定により、令和2年度に使用する小学校の教科用図書を採択していただきたく、提案するものでございます。

本年5月の定例教育委員会会議で議決していただきました採択基本方針に従って、秦野市教科用図書採択検討委員会を設置し、採択に向けた調査検討を行いました。この検討委員会は、第1回を5月13日に開催し、調査研究の進め方などについて協議をしました。第2回は7月5日に開催しまして、調査員からの教科用図書の調査研究結果の報告を受け、令和2年度に小学校で使用する教科用図書についての検討を行いました。この検討結果については、報告書として教育委員会に提出され、教育委員の皆様にもお渡しさせていただきました。

内田教育長

本日の会議では、まず採択検討委員会の検討結果報告を御報告申し上げます。その後、協議のうえ、13種目それぞれ1者の教科用図書を採択していただきたいと思っております。以上です。

ありがとうございます。

今回、教科用図書の採択に当たりまして、教育長の私あて要請が1件、教育委員会あて意見書が1件出ております。それらについては、定例教育委員会会議で報告させていただきました。

それでは採択の進め方ですが、まず、小学校で使用する教科用図書について種目ごとに事務局より説明を行い、それを受けて教育委員で協議し、その後、記名による投票を行いまして、得票数が一番多かった1者に決定する、こういう方法で進めていきたいと思っておりますがいかがでしょうか。

—異議なし—

内田教育長

では、委員の皆さんには既に教科書をよく御覧いただいておりますし、各教科について既にそれぞれの委員は採択すべき教科書を決めておられるとは思いますが、事務局の説明を聞いたうえで意見交換、議論をしていただいて、投票で決定をいたしたいと思

います。

なお、票が割れた場合、最も多い得票でも過半数を超える3票までに至らなかった場合は、再度の意見交換、議論をしていただき、再投票を行うということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

—異議なし—

内田教育長

投票することとなりましたので、立会人を指名したいと思いますが、飯田教育長職務代理者に立会人をお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、飯田委員に立会いをお願いいたします。

また、すべての種目が完了した時点で第17号議案をお諮りいたし、議決するということにいたしたいと思いますが、それによろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、議事に入ります。

最初に国語から審議いたします。

教育指導課長兼
教育研究所長

国語についてお願いします。

国語は、発行者が4者になります。

教科用図書採択検討委員会からの主な意見ということで報告をさせていただきます。

どの教科書にも二次元コードなどが付いていて、子どもや保護者に分かりやすくなっている。

東京書籍は軽量化されていて、大判の割には軽くなっている。

光村図書では、メディアとコミュニケーションなどで現代的な題材が取り上げられている。

東京書籍や光村図書は流れが分かりやすく、子どもも教員も使いやすい。

学校図書は出雲の鎮守の森など、秦野と関わりのある題材がある。

教育出版は全て上下巻になっていて、一冊が軽い。

以上です。

内田教育長

以上の説明であります、

御意見、御質問等があればお願いします。

高橋委員

小学生に読ませたい読み物を厳選された結果として、複数者で同じ題材を扱っています。光村図書は子どもが深く感動し、自ら考えを深めていく読み物が多く取り上げられている印象があります。それに加えて5年の「想像力のスイッチを入れよう」や6

年の「メディアと人間社会」など情報化社会を生きていくうえでヒントとなる題材や6年の「大切な人と深くつながるために」でコミュニケーションの大切さを学ぶ内容も含まれています。

東京書籍は、1年上の教科書を開いて、迫力のある絵にびっくりし、子どもたちも「何これ？」と思うのではないのでしょうか。授業の流れがイメージしやすく、教師、児童双方にとって使いやすい教科書だと感じました。

牛田委員

私は大きさや重さが気になりました。その点では分冊というのは軽くて魅力的だなとは思いますが、やはり内容も重視したいですね。そういう部分では東京書籍が魅力的だなと思いました。授業で重視されている「ふりかえり」についても、取り組みやすいかなと思います。

内田教育長

今、お話のあった東京書籍と光村図書を出していただけますか。

—教科書配布—

内田教育長

それぞれ個性があるのだなと思って教科書を見ました。

授業のお話が出ましたが、先生方が扱いやすいというのも1つのポイントだと思いました。国語ではやはり教科書を使って授業を進めるのが基本ですから、今はベテランの先生方が大勢退任されて、世代交代、若い先生が増えているという状況ですから、授業がしやすいということも、教科書を考えるうえで重要と感じました。

飯田委員

東京書籍、光村図書の話題が出ましたが、私も紙面構成などが工夫されていると思いました。他には学校図書もうまくまとまっていると思いました。あとはどの教科書も扱っていますが、関連した本の紹介なども、今、子供たちの読書離れが危惧されている中、読書につなげるうえで、大切ではないかと思っています。

片山委員

飯田委員の意見でも出ましたが、レイアウトという部分で東京書籍は読みやすいと思います。行間や文字間もほどよいと思います。あとは教育出版や学校図書もレイアウトは落ち着いていると思いました。あまり大きな差は無かったと思いました。

内田教育長

教育出版の教科書を委員さんの前をお願いします。

—教科書配布—

内田教育長

ありがとうございます。よろしければ、早速、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、国語について投票を行います。投票用紙の配付をしてください。

内田教育長	<p>—投票— 開票をお願いします。</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>—開票— 開票の結果を報告いたします。 飯田教育長職務代理「東京書籍」、高橋委員「光村図書」、片山委員「東京書籍」、牛田委員「東京書籍」、内田教育長「東京書籍」、国語につきましては、東京書籍4票、光村図書1票、以上です。</p>
内田教育長	<p>東京書籍4票、光村図書1票。 それでは、開票の結果、小学校国語につきましては東京書籍に決定いたしました。</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>続いて、小学校書写について審議を行います。 事務局から説明をお願いします。 書写の発行者は、5者になります。 書写については、次のような意見が出されました。 国語の教科書との関連を考えるべきではないか。教材が連動しているといい。 東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書は二次元コードなどが載っている。 ユニバーサルデザインの視点では、東京書籍、光村図書が専門家の校閲を受けている。 教育出版は、応用という点に着目していて、よい。 どの教科書も写真が多く、丁寧で甲乙つけがたい。 以上です。</p>
内田教育長	<p>以上の説明であります。御意見、御質問等があればお願いします。</p>
片山委員	<p>各者とも書き込みへの配慮がされていると思いましたが、特に東京書籍の左利きへの配慮の部分がよいなと思いました。どの子にも使いやすいようにという視点をもった教科書だと思います。また、検討委員会の意見にもありましたように、国語の教科書と教材が連動するよさも考慮すると、東京書籍がよいかなと思います。</p>
飯田委員	<p>東京書籍は、解説が丁寧で、子どもたちが学習を進めていくうえで分かりやすい書籍だと感じました。</p>
高橋委員	<p>今回、どの教科書も新たに水書、水で書くことに触れていて、低学年のうちから3年生で筆を使った習字へとつながる活動を意識しているのが特徴的だなと思いました。教材が国語と連動することもよいと報告がありましたが、確かにそれもあります。</p>

牛田委員

「トン」・「ピタ」などの言葉を使って、子どもたちが感覚的に学べる教科書だとよいなと思います。

読み易さ、見易さ、ページのレイアウト、そういったところを見てみますと、私は東京書籍がいいかなと思いました。

また、飯田委員も言われていましたけど、解説もとてもわかりやすいという感じを持ちましたし、また、事務局からの説明や片山委員からの話もありましたけれど、教科書との関連も考えていく必要もあるのかなというようなところからも、東京書籍を推薦したいなと思います。

内田教育長

東京書籍を出してください。

—教科書配布—

内田教育長

私も全てを見て、先程、高橋委員が水書ということに触れているのは初めての例で、前回の4年前のときはなかった。4年前のときは、意見として出たのを思い出しますと、「トン」・「ピタ」という姿勢をきちんと取って書くという。これは、非常に昔を思い出して、こういうことをやったなということ思い出したのですが、更にそれに今回は、水書という水で書いて、乾けば消えるという。これは、どこの教科書も出したんですけれども、現場のことを考えますと、国語との連動ということも一つ、視点として考えた方がいいのかなということは私も思いました。

他にどうでしょうか。

よろしければ、早速、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、書写について投票を行います。投票用紙の配付をしてください

—投票—

内田教育長

開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼
教育研究所長

開票の結果を報告いたします。

飯田教育長職務代理「東京書籍」、高橋委員「東京書籍」、片山委員「東京書籍」、牛田委員「東京書籍」、内田教育長「東京書籍」、書写につきましては、東京書籍5票、以上です。

内田教育長

東京書籍5票。

それでは、開票の結果、小学校書写につきましては東京書籍に決定いたしました。

続いて、小学校社会について審議を行います。

事務局から説明をお願いします。

教育指導課長兼 教育研究所長	<p>社会の発行者は、3者になります。</p> <p>検討委員会の主な意見としましては、教育出版は神奈川県が資料が多く、子どもたちが自分事として考えることができる。</p> <p>東京書籍は6年生の政治と歴史を分けたのが特徴的だが、政治は政治、歴史は歴史というものでもないと思う。</p> <p>内容的に分ける必要がないのであれば、学習の見通しをもてるので1冊になっている方がよい。</p> <p>日本文教出版には秦野にゆかりのある二宮尊徳が選択教材として載っている。</p> <p>以上です。</p>
内田教育長	<p>以上の説明であります。御意見、御質問等があればお願いします。</p>
片山委員	<p>教育出版の教科書は、確かに神奈川県に関する資料が多く掲載されていました。子どもが初めて社会を学ぶということを考えますと、興味を持って勉強できるのではないかなと思います。</p>
飯田委員	<p>私もその部分は気になりました。3年生で県の学習をした時に、身近な場所が載っているのはいいなと思いました。4年生の水の学習では、相模ダムも取り上げられていますし、教育出版は秦野の子どもたちにとって親しみやすいなと思いました。あとは領土問題については、どの教科書でも扱っていました。</p>
牛田委員	<p>私は東京書籍の分冊というところが気になりました。検討委員会の報告では、歴史と政治の分冊についてどうかという意見もありましたが、中学校では歴史と政治の教科書は分かれていますし、中学校との接続を意識した新しい試みとして東京書籍の分冊は評価できるものかなと思いました。</p>
高橋委員	<p>教育出版では、3年生で横浜市が取り上げられています。私たちの住んでいる市・町について学ぶ時に、なじみのある場所が題材になっているのは興味を持つきっかけになります。4年でも「水はどこから流れてくるのか」で水道について学ぶ時に、相模川が出てきます。私たちが住んでいる神奈川県に関する題材が多く取り上げられていることは、子どもたちが主体的に学ぶ機会が与えられるのでよいと思います。</p>
内田教育長	<p>今、話のありました教育出版と東京書籍を出していただけますか。</p>
内田教育長	<p>—教科書配布—</p> <p>確かに、身近な題材というのは、子どもたちが興味を持つという点ではいいのかなと思います。私は、検討委員会の報告ということで、二宮尊徳のことが話題になったんですね。報徳サミット</p>

を秦野は経験していきまして、その協議会に加入して、今年は茨城県で大会がありますけれど、そういったことも、一つ教材としてはいいのかなとも思いました。

特に社会科の取組としては、興味を引くのは身近な題材ですかね。その辺のところ、そんな気もしましたがけれど。

他にどうでしょう。よろしいでしょうか。

よろしければ、早速、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、社会について投票を行います。投票用紙の配付をしてください。

—投票—

内田教育長

開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼
教育研究所長

開票の結果を報告いたします。

飯田教育長職務代理「教育出版」、高橋委員「教育出版」、片山委員「教育出版」、牛田委員「東京書籍」、内田教育長「日本文教出版」、社会につきましては、教育出版3票、東京書籍1票、日本文教出版1票、以上です。

内田教育長

教育出版3票、東京書籍1票、日本文教出版1票。

それでは、開票の結果、小学校社会につきましては教育出版に決定いたしました。

続いて、小学校地図について審議を行います。

事務局から説明をお願いします。

教育指導課長兼
教育研究所長

地図の発行者は、2者です。

主な意見としましては、今回から扱うことになった3年生がポイントとなる。地図って面白いなと思ってもらえそうなのは帝国書院ではないか。

帝国書院は、情報量が少ないところからスタートしているのがよい。

東京書籍は、地図の基本的な見方から入っていくのがよい。

以上です。

内田教育長

以上の説明であります。御意見、御質問等があればお願いします。

高橋委員

東京書籍は、全体的な情報量が多いと思いました。これはよい点でもありますが、3年生に重点を置くとどうかなとも思います。高学年であれば自分で他の資料から情報を集めることもできるでしょうし、帝国書院の方が情報を絞っていて分かりやすいと

飯田委員

思います。

東京書籍は「秦野盆地」や「らっかせい」の記載があり、秦野市周辺については詳しいなと思いました。ただ秦野のことを調べるのであれば別の資料でもいいわけですし、情報にうまく着目できない子もいるとすると、帝国書院は、シンプルな部分もあって分かりやすいかなと思います。

牛田委員

帝国書院の最初のページがとても親しみを感じました。国名が入っていて、世界のあらましが分かり、子どもたちに馴染みやすい入り方をしていると思いました。東京書籍はイラストで世界地図が入っていて、絵がとても多くて、3年生への配慮かなと思いました。教材として扱っていくには難しいかなという印象を持ち、また子どもにとっても難しいのかなという感想を持ちました。

片山委員

中学校では帝国書院を使っています。また、帝国書院は我々大人にとっても慣れ親しんでいるし、使いやすい。家族で地図を身近に感じて使ってもらえるといいですね。

内田教育長

帝国書院の地図というのは、確かに自分たちも使っていたなということ、改めてこれを見たとき思いました。

先程、説明がありました、今回から使うことになる3年生が使うことを視野に入れた時、先程、牛田委員がおっしゃったように、絵地図がいいのか実際の地図として国名が入った方がいいのかは、一つのポイントになりますね。

他にどうでしょうか。よろしいでしょうか。

よろしければ、早速、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、地図について投票を行います。投票用紙の配付をしてください。

—投票—

内田教育長

開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼
教育研究所長

開票の結果を報告いたします。

飯田教育長職務代理「帝国書院」、高橋委員「帝国書院」、片山委員「帝国書院」、牛田委員「帝国書院」、内田教育長「帝国書院」、地図につきましては、帝国書院5票、以上です。

内田教育長

帝国書院5票。

それでは、開票の結果、小学校地図につきましては帝国書院に決定いたしました。

内田教育長

教育指導課長兼
教育研究所長

続いて、小学校算数について審議を行います。

事務局から説明をお願いします。

算数の発行者は、6者になります。

主な意見としましては、啓林館には、巻末に切り取りページがあり、こうしたものがあるとよい。

算数は得意な子と苦手な子の差が出やすいので、できるだけそこに配慮された教科書がよい。

分数÷分数は難しい学習だが、大日本図書はそれを後半にしており、配慮を感じる。

東京書籍は「マイノートをつくろう」など、学び方を最初の方に示しているのがよい。

啓林館は絵の配置が分かりやすい。身のまわりから算数的なものを見つけるという視点があつてよい。

啓林館には、面白い問題が載っていて、興味を持たせるという意味ではよい。

算数でも言葉で説明することが大切だとされているが、啓林館では吹き出しの形で説明が示されていて、それをまねていくと説明ができるようになる。

以上です。

内田教育長

以上の説明であります。御意見、御質問等があればお願いします。

片山委員

教育出版は取り組みやすい導入の部分が工夫がされているなと思いました。また、啓林館は面白い題材もあり、考えるような難しい問題もあるなという印象を持ちました。

高橋委員

啓林館の、身のまわりから算数的なものを見つけるというのはよいなと思います。報告にもあつたように、これからの算数は自分の言葉で説明することも大切だと思いますので、吹き出しの工夫で子どもたちが主体的に学べるといいなと思います。

内田教育長

全国学力・学習状況調査では、正答率が高い子どもの割合が全国にくらべて少ないという分析結果もありますので、難しい問題があるというのも必要な部分かなと思います。また、高橋委員のおっしゃったように、身近な題材を通して学ぶという視点も大切だと思います。

飯田委員

私は啓林館とともに、教育出版も日常場面を多く扱っていたかなと思います。

牛田委員

子ども達の学力差を補うという点では、大日本図書がいいかなと思いました。また、検討委員会からの意見にもありましたが、分数÷分数は、とても難しい課題、学習で、子どもが躓きやすい、

内田教育長

あるいは、算数嫌いになってしまうような学習になっています。ですので、この検討委員会からの意見にもあったように、大日本図書はそれを後半にしているというような配慮が感じられましたし、また、学び直しもしやすい教科書構成、編集になっていたかなど、こんなふうに感じましたので、私は大日本図書を推薦したいなと思います。

今、分数÷分数という、非常に難しいものを後半戦にという話もありましたけれども、確かに入りやすさというのはあると思います。

どうでしょう。他によろしいでしょうか。

よろしければ、早速、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、算数について投票を行います。投票用紙の配付をしてください。

—投票—

内田教育長

開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼
教育研究所長

開票の結果を報告いたします。

飯田教育長職務代理「啓林館」、高橋委員「啓林館」、片山委員「啓林館」、牛田委員「大日本図書」、内田教育長「啓林館」、算数につきましては、啓林館4票、大日本図書1票、以上です。

内田教育長

啓林館4票、大日本図書1票。

それでは、開票の結果、小学校算数につきましては啓林館に決定いたしました。

続いて、小学校理科について審議を行います。

事務局から説明をお願いします。

教育指導課長兼
教育研究所長

理科の発行者は、6者になります。そのうち信州教育出版社からは見本本が本市及び近隣市町には届きませんでした。

検討委員会が出た主な意見としましては、新学習指導要領のことを考えると、学習の流れがきちんと分かるものがよい。

東京書籍は大きめで机に入るか心配。実用性も大事。

身近な題材が取り上げられているという点では、大日本図書に秦野市の水無川が取り上げられている。

以上です。

内田教育長

以上の説明であります。御意見、御質問等があればお願いします。

高橋委員

大日本図書には、秦野市の水無川以外にも、神奈川県内の様々

牛田委員

な題材が取り上げられています。問題、予想、計画、実験、結果、考察、結論と、学びの順が示されているので、理科が得意でない子にも分かりやすい構成になっていると思いました。

大日本図書は自由な発想で、というところはよいと思いました。ただ、予想の部分がやや当たり前の記述なのかなと思います。子ども達にとって、予想のきっかけになるような文言にもう少し工夫があるとよいと思います。

その点、啓林館は予想が予想らしい表現になっていて、子どもたちが予想していくに相応しい文言が整理されているなどというふうな感想を持ちました。

片山委員

啓林館は、詳しくて丁寧だと思います。あまりにも教科書通りの授業というのもどうかと思いますが、若い先生方が増えていることも考えると、めあてや課題が明確なのも授業を進めやすいように思いました。

飯田委員

東京書籍は大判で見やすいかなと思います。それから学校図書は表紙が工夫されている印象です。それぞれの教科書も工夫されていると思いますので、あとは、先生方が使いやすいというのがポイントかなと思います。その点では啓林館が授業の流れが見通せるかと思います。

内田教育長

啓林館と大日本図書と東京書籍を出してください。

—教科書配布—

内田教育長

先程、話があった、使いやすさということもそうですし、若い先生方が増えているということで、進めやすさですとか、あるいは、学習の流れがわかるものがないのではないかという意見があり、そういうことも踏まえると、それぞれの個性があっているのですが、こうやって改めて見るとカラフルですね。大判サイズは違いますね。

他にどうでしょうか。よろしいでしょうか。

内田教育長

よろしければ、早速、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、理科について投票を行います。投票用紙の配付をしてください。

—投票—

内田教育長

開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼

開票の結果を報告いたします。

教育研究所長

飯田教育長職務代理「啓林館」、高橋委員「大日本図書」、片

内田教育長

山委員「啓林館」、牛田委員「啓林館」、内田教育長「啓林館」、理科につきましては、啓林館4票、大日本図書1票、以上です。啓林館4票、大日本図書1票。

教育指導課長兼
教育研究所長

それでは、開票の結果、小学校理科につきましては啓林館に決定いたしました。

続いて、小学校生活について審議を行います。

事務局から説明をお願いします。

生活科の発行者は、8者です。そのうち、信州教育出版社からは、見本本が本市及び近隣市町には届きませんでした。

検討委員会での主な意見は次のとおりです。

写真が多いのは楽しいが、1年生は小さい写真がたくさんあると探せないなので、大きい写真がある方が分かりやすい。

東京書籍はサイズが大きく扱いが心配な面はあるが、とても見やすい。

生活科は教科書がいらぬのではないかというところからスタートした教科なので、実際は活動のきっかけとなればよい。

教科書を入口として、教員が資料を自作して導入することもある。

以上です。

内田教育長

以上の説明であります。御意見、御質問等があればお願いします。

牛田委員

学校現場の先生方からしたら、子どもたちと学習を進めやすい編集がいいと思っています。東京書籍は、写真やイラストが大きくて見やすいなと思います。それと巻末の「かつどうべんりてちょう」の題材もいいなと思いました。

片山委員

私は日本文教出版がよいかなと思いました。図が大きいですし、上巻の「やまおり」のページの工夫がよいなと思います。あとは、教育出版も、写真や絵が見やすくて分かりやすいかなと思いました。子どもたちが学習を始めるきっかけになると思いました。

高橋委員

東京書籍は、活動のヒントとなるものがたくさん載っている感じがしました。それと植物などを観察する際のカードの書き方も丁寧で、子どもたちの学習に参考となる教科書だと思います。

飯田委員

私も東京書籍がいいと思っています。手洗い・うがいなど、日常生活につながりがあるページがよいなと思いました。

内田教育長

東京書籍と日本文教出版を出していただけますか。

—教科書配布—

内田教育長

先程、報告にあった、1年生が小さい写真だと探せないという

話がありましたが、たくさん大きいものを使っているところもありますし、確かに小さいのもあったなという気がします。やはり、1年生の視点ということも考えると、必要のある分野なのかなという気がしますけどね。

内田教育長 よろしいでしょうか。

内田教育長 よろしければ、早速、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

内田教育長 —異議なし—

内田教育長 それでは、生活について投票を行います。投票用紙の配付をしてください。

内田教育長 —投票—

教育指導課長兼 教育研究所長 開票をお願いします。

教育指導課長兼 教育研究所長 —開票—

内田教育長 開票の結果を報告いたします。

内田教育長 飯田教育長職務代理「東京書籍」、高橋委員「東京書籍」、片山委員「日本文教出版」、牛田委員「東京書籍」、内田教育長「東京書籍」、生活につきましては、東京書籍4票、日本文教出版1票、以上です。

内田教育長 東京書籍4票、日本文教出版1票。

教育指導課長兼 教育研究所長 それでは、開票の結果、小学校生活につきましては東京書籍に決定いたしました。

教育指導課長兼 教育研究所長 続いて、小学校音楽について審議を行います。

教育指導課長兼 教育研究所長 事務局から説明をお願いします。

教育指導課長兼 教育研究所長 音楽の発行者は、2者になります。

教育指導課長兼 教育研究所長 検討委員会での主な意見は次のとおりです。

教育指導課長兼 教育研究所長 教育出版は、導入のところで透明シートがついていてわかりやすい。

教育指導課長兼 教育研究所長 教育出版は1年生の鍵盤ハーモニカや3年生のリコーダーという新しい楽器が入ってくるところで易しいつくりになっている。

教育指導課長兼 教育研究所長 落としてはいけないところは両者ともきっちりおさえている。

内田教育長 以上です。

内田教育長 以上の説明であります。御意見、御質問等があればお願いします。

片山委員 私も検討委員会と同様に、教育出版は新しい楽器の導入の部分が丁寧でよいなと思いました。あとは、教育出版・教育芸術社の両者ともですが、日本の伝統的な曲はおさえられていいなと思います。

高橋委員

教育出版は、声や体を使ってリズムを覚えたり、楽しく学べる工夫が感じられます。鍵盤ハーモニカの鍵盤の絵も実物大で分かりやすいと思いました。印象の話になってしまうかもしれませんが、教育出版の方がやや子ども向けの気がします。

牛田委員

私は教科書の表紙のタイトルが気に入りました。教育出版の「音楽のおくりもの」、メッセージが込められていて、とても素敵だなと思いました。イラストも現代的な気がしますし、教育出版の6年生では、ピアニストの辻さんの紹介もいいなと思いました。

飯田委員

両者ともに音楽をとおして日本の伝統や日本の良さを伝えているように思いました。どちらも大きな差はないと思いましたが、巻末の国歌については、教育芸術社のほうがより丁寧に扱っているなと感じました。

内田教育長

2者ということですが、先程、教育出版の方で、1年生の鍵盤ハーモニカ、それから、3年生のリコーダーという新しいものが入ってくるころでの取り組みやすさというのですかね、そういう作りという話がありましたけれども、子どもたちの学習意欲につながるものとして考えますと、中身もそうですけれども、表紙も大事なことなのかなと、あるいは、題名も確かに大切な要素なのかなと、私は思いました。よく新任の教員に言うのですが、子どもたちにとって楽しい授業、わくわくするような授業をと言うのですが、そういうことで使えるような教科書がいいだろうと思った次第でございます。

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

内田教育長

よろしければ、早速、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、音楽について投票を行います。投票用紙の配付をしてください。

—投票—

内田教育長

開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼

教育研究所長

開票の結果を報告いたします。

飯田教育長職務代理「教育芸術社」、高橋委員「教育出版」、片山委員「教育出版」、牛田委員「教育出版」、内田教育長「教育出版」、音楽につきましては、教育出版4票、教育芸術社1票、以上です。

内田教育長

教育出版4票、教育芸術社1票。

教育指導課長兼
教育研究所長

それでは、開票の結果、小学校音楽につきましては教育出版に決定いたしました。

続いて、小学校の図画工作について審議を行います。

事務局から説明をお願いします。

図画工作の発行者は、2者になります。

検討委員会での主な意見は次のとおりです。

開隆堂は子ども向け、日本文教出版は先生向けという感じがあるが、子どもが主体なので開隆堂がよいかと思う。

教科書をずっと使って授業をするわけではないので、ヒントとして使ったり子どもが見て興味を持てたりするものが適している。

開隆堂は例示されている作品がよい。

以上です。

内田教育長

以上の説明であります。御意見、御質問等があればお願いします。

飯田委員

開隆堂は、使う道具がきちんとまとめて示されていてよいなと思います。見通しをもって、色々な素材・色々な道具を使った創作活動ができると、子どもたちの学習が広がったり深まったりすると思います。

牛田委員

開隆堂は説明の文章がとても柔らかく、親しみを感じるものとなっていると思いました。また、私は図工でも表紙や題名に注目してみましたが、開隆堂は、教科書1冊1冊に題名があり、テーマ性を感じました。

片山委員

開隆堂は学年ごとの題名が、子どもの成長に合わせているように思い、かなり考えられた教科書だなと思いました。内容面では、日本文教出版の方が、題材が多様でよいのではないかと私は思いました。

高橋委員

私は、開隆堂の共同制作の部分がよいなと思いました。子どもたちが分担をどうするかなど話し合いながら学習を進める中で伸びてくる力というものもあると思います。ページの端に使うものが明示されている点もよいと思いました。日本文教出版も外に出て活動する題材が多くてよいと思いました。表現がやや固い気もしました。

内田教育長

日本文教出版と開隆堂を出してください。

—教科書配布—

内田教育長

先程、報告の中で、教科書をずっと使って授業をするわけじゃないので、ヒントとして使ったり、あるいは、子どもが興味を持ったりするという、これも1つの視点だなと思いました。やは

	<p>り1番は、子どもたちがいかに興味を持つかということの視点も大事だなという気がしました。</p> <p>表紙を見ても、視覚に訴える。どちらも、本当に綺麗ですね。</p> <p>題材の多様化ですとか、あるいは、開隆堂の方は1冊1冊に題名があって、テーマ性というのがある等、それぞれの個性が出ているんだなど、つくづく思いました。</p> <p>他にどうでしょう。よろしいでしょうか。</p> <p>よろしければ、早速、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。</p> <p>—異議なし—</p>
内田教育長	<p>それでは、図画工作について投票を行います。投票用紙の配付をしてください。</p> <p>—投票—</p>
内田教育長	<p>開票をお願いします。</p> <p>—開票—</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>開票の結果を報告いたします。</p> <p>飯田教育長職務代理「開隆堂」、高橋委員「開隆堂」、片山委員「日本文教出版」、牛田委員「開隆堂」、内田教育長「日本文教出版」、図画工作につきましては、開隆堂3票、日本文教出版2票、以上です。</p>
内田教育長	<p>開隆堂3票、日本文教出版2票。</p> <p>それでは、開票の結果、小学校の図画工作につきましては開隆堂に決定いたしました。</p> <p>続いて、小学校の家庭について審議を行います。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>家庭の発行者は、2者になります。</p> <p>検討委員会での主な意見としましては、東京書籍は実物大で実際に見て分かるというページがよい。</p> <p>東京書籍は左利きの記載が実物大であり、その点は大判の教科書のよさである。</p> <p>消費者、生活者という視点から東京書籍がよい。</p> <p>動画がその場その場で見られるとよい。</p> <p>以上です。</p>
内田教育長	<p>以上の説明であります。御意見、御質問等があればお願いします。</p>
牛田委員	<p>どちらも、左利きについて配慮しているというのはよいと思います。優しい心遣いですね。子どもたち一人ひとりを大切にしたい教科書がよいと思います。</p>

高橋委員 両者とも左利きには触れていると思いますが、特に東京書籍は、それが実物大で示しているところが分かりやすいですね。あとは学習したことを実生活につなげていくという視点も家庭科では大切だと思います。

飯田委員 東京書籍は大判で見やすく、紙面構成も工夫されていて、読みやすいと感じました。

片山委員 実生活とのつながりでいうと東京書籍かなという気がします。教材のバランスもよいと思います。開隆堂は二次元コードがページごとにつけられていて、必要な情報を必要な時に使うことができます。中学校との学習内容のつながりでいうと開隆堂もよいと思います。

内田教育長 東京書籍と開隆堂を出していただけですか。

—教科書配布—

内田教育長 今、片山委員の中学校とのつながりというお話がありましたけれども、家庭科が5・6年生からスタートして、中学校へつながると、こういう部分も、やはり大切にしなければならない部分なのかなということは、私自身も思いました。

見易さの問題もありますし、紙面構成の工夫やサイズの大きさも魅力ではあるなと思います。

他にどうでしょう。よろしいでしょうか。

よろしければ、早速、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長 それでは、家庭について投票を行います。投票用紙の配付をしてください。

—投票—

内田教育長 開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼
教育研究所長 開票の結果を報告いたします。

飯田教育長職務代理「東京書籍」、高橋委員「東京書籍」、片山委員「開隆堂」、牛田委員「東京書籍」、内田教育長「開隆堂」、家庭につきましては、東京書籍3票、開隆堂2票、以上です。

内田教育長 東京書籍3票、開隆堂2票。

それでは、開票の結果、小学校家庭につきましては東京書籍に決定いたしました。

続いて、小学校保健について審議を行います。

事務局から説明をお願いします。

教育指導課長兼 保健の発行者は、5者になります。

教育研究所長	<p>検討委員会での主な意見は次のとおりです。</p> <p>たばこや薬物の害の学習については、インパクトの強い方がよい。子どもたちにショックは大きいかもしれないが、実物の写真の方がよい。</p> <p>大日本図書はシールを使えるようになっているが、教科書でなくても工夫はできる。</p> <p>書き込みが多いものとそうでないものがある。東京書籍は書き込みを多く設定している。</p> <p>光文書院は心の発達にページをさいている。</p> <p>以上です。</p>
内田教育長	<p>以上の説明であります。御意見、御質問等があればお願いします。</p>
高橋委員	<p>やはり薬物乱用や喫煙等で掲載している写真はインパクトがある方がよいと思います。光文書院や東京書籍は実際の薬物の写真が使われていて、いいと思います。</p>
飯田委員	<p>保健の授業は年間でいうとあまり回数は多くないそうですし、やはり資料が大切になってくると思います。光文書院の絵や写真は、大変見やすいなと感じました。</p>
牛田委員	<p>どの教科書もよくできていて、大きな差は無いように感じました。その中で、読みやすさという点では、学研と東京書籍が読みやすくてよいなと思いました。</p>
高橋委員	<p>東京書籍には、薬の飲み方が載っていました。他の出版社にもありましたが、こういう当たり前のことも資料として載せているのはいいと思います。</p>
片山委員	<p>東京書籍は載せている量がとても多いように思いました。あとは書き込みも多いので、そこは先生方がどう使うかだと思います。</p>
内田教育長	<p>光文書院、東京書籍と学研を出してください。</p> <p>—教科書配布—</p>
内田教育長	<p>確かに、見ますと写真のインパクトというのは、たばこ、薬害、これは非常にショックとして受け止めるか、警告的な形として、こうなるんだよということややるのかという点でインパクトが強いですね。前回のときも、つくづく思いましたけど。</p> <p>光文書院の心の発達の部分でページを割いているという話がありましたけど、そういうものも、こういう時代ですから必要なのかなという気がしますね。</p> <p>他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>よろしければ、早速、投票に移りたいと思いますが、投票に移</p>

内田教育長

ってもよろしいですか。

—異議なし—

それでは、保健について投票を行います。投票用紙の配付をしてください。

内田教育長

—投票—

開票をお願いします。

教育指導課長兼
教育研究所長

—開票—

開票の結果を報告いたします。

飯田教育長職務代理「光文書院」、高橋委員「東京書籍」、片山委員「東京書籍」、牛田委員「東京書籍」、内田教育長「東京書籍」、保健につきましては、東京書籍4票、光文書院1票、以上です。

内田教育長

東京書籍4票、光文書院1票。

それでは、開票の結果、小学校保健につきましては東京書籍に決定いたしました。

教育指導課長兼
教育研究所長

続いて、小学校外国語について審議を行います。

事務局から説明をお願いします。

外国語の発行者は、7者になります。

検討委員会での主な意見は次のとおりです。

小学校では、まず耳から入ってきたことが言えればよい。

学校図書は見やすい。インプット重視に思える。

啓林館はインプット重視の意識が見られる。

啓林館はスタートが難しいかもしれないが、見た目はなじみやすい。

どの教科書もカラフル。中学校で文字ばかりになるとギャップが大きいのではないか。

以上です。

内田教育長

以上の説明であります。御意見、御質問等があればお願いします。

牛田委員

これまで英語の教科書というものは中学校から使っていたわけですが、今回初めての小学校外国語の教科書採択として、小中のつながり、中学年3年生、4年生の外国語活動とのつながり、ここも大事にしていきたいなと思っています。

事務局の方から、発行者7者ということで、中身を拝見させていただきましたけども、その中で三省堂が絵、図、写真、英文等の配置が、とても見易いなというふうな感じを持ちましたし、聞く、話す、読む、書くの4領域のバランスも、丁度よく取れているかなというような感想を持ちました。

内田教育長

我々の世代は、中学校で英語をいきなり入りますと、文法からという形で入ったのですが、今回、初めて教科書を採択するについて、教科書を全部見ますと耳なんですね。音声が入ってきて、それでという。変わったなあというようなところを、つくづく思いました。そういう意味では、中学校の英語、小学校3、4年生の外国語活動とのつながりということも、基本的には考えなくちゃいけないんだろうなど。小学校の外国語として大切なのは、先程言ったように、文法よりも耳で聞いたり、実際に話をするといった、コミュニケーション能力ですか。そうすることも大事だと、つくづく思いました。

全ての教科書が非常にカラフルで、イラストですとか絵だとか、情報がヒントとなって理解を進めるという作りになっているというところに大変感心をしました。

他にどうでしょうか。

高橋委員

私は、教科としての学びを始める5年生にとっては学校図書がよいのではないかと思いました。クラスルームイングリッシュが充実しているし、ページの割り振りに工夫が見られ、各レッスンの流れも示されていて使いやすいことも利点になると思います。音声を聞くことを最重要事項と捉えているので、外国語活動からの接続もよいと考えます。

片山委員

検討委員会からの意見で耳から入ってきたことが言えればよいですとか、教育長が話された耳で聞いて話をするという、コミュニケーションについて考えると、三省堂の教科書の最初の方に、教室で使う英語がまとめてあるページがあつていいなと思いました。英語を使ってどのように授業が進むのか具体的にイメージできたように思います。

飯田委員

やはりどれだけ英語に親しみながら授業が進められるかだと思います。中学校の授業でもオールイングリッシュが求められてくることを踏まえて、小学校から耳で慣れるのが大切ですよね。

内田教育長

啓林館と三省堂と学校図書を出してください。

—教科書配布—

内田教育長

初めての教科ですからね。今までは、外国語活動でしたが、教科書があるという形になるわけですから、いかに入りやすいかという部分もあるのでしょうか。中身を最初に見てびっくりしたのは、本当に耳から入ってくるものから進んでくつていう。昔のようにローマ字で、最初から書いて文法をやつてなんていうのは、実際ないですからね。

どうでしょう。他に何か御意見があれば。よろしいでしょうか。

よろしければ、早速、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長 それでは、外国語について投票を行います。投票用紙の配付をしてください。

—投票—

内田教育長 開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼
教育研究所長 開票の結果を報告いたします。

飯田教育長職務代理「三省堂」、高橋委員「学校図書」、片山委員「三省堂」、牛田委員「三省堂」、内田教育長「啓林館」、外国語につきましては、三省堂3票、学校図書1票、啓林館1票、以上です。

内田教育長 三省堂3票、学校図書1票、啓林館1票。

それでは、開票の結果、小学校外国語につきましては三省堂に決定いたしました。

続いて、小学校特別の教科道徳について審議を行います。

事務局から説明をお願いします。

教育指導課長兼
教育研究所長 特別の教科道徳の発行者は、8者になります。

検討委員会での主な意見は次のとおりです。

別冊は無いほうがよい。

ワークシート集などは学校で作るなど、今も工夫できている。

できるだけ子どもの発想が広げられるものがよい。

学んだことをもとに体験学習をしようとか、ロールプレイをしようとか、各出版社とも考えられている。

教員の力量に左右されるところが大きい。

以上です。

内田教育長 以上の説明であります。御意見、御質問等があればお願いします。

片山委員 確か2年前の採択でも話題にしたと思いますが、先生方が学級の実態に応じて授業が展開できるよう、ワーク的な書き込みが最初からあるのではなくて、先生方が工夫してワークシートなどを作成できるような教科書がよいのではないかと思います。もちろんその準備は大変ですが、これまでも先生方はよく教材研究をされていて、目の前の子どもたちに適した道徳の授業を展開してきたと思いますから。

内田教育長 2年前には「二宮尊徳」についても話題に上がったことを覚えています。「全国報徳サミット」を開催したこともありますし、

飯田委員

やはり本市に関連する教材を扱っているというのは、注目に値すると思います。

高学年以降で使うことを想定した、二宮尊徳に関する本市独自の教材も作成していますし、中学年で扱っている教科書はつながりをもって学びやすいですね。

内田教育長
高橋委員

他にはいかがでしょうか。

私は学研教育みらいの教科書がよいと思いました。低学年では、特に身近な出来事を題材にしており、理解しやすいと思います。お話しがあった「二宮尊徳」についても、よく知られている勉学に励んだ点ではなく、「わらじ作り」を取り上げています。今求められている「考える道徳」の授業が進められる教科書かなと思います。

牛田委員

私は読み物が工夫されていて、子どもたちにいかに考えさせることができるかという点で教科書を拝見させていただきました。その中で、私は光村図書にとっても好感が持てました。

内田教育長

先生方が様々な形でワークシートを工夫してという形のものもありますから、扱いやすさということも含めて考えていくべきかなと思っています。

どうでしょうか。

よろしければ、早速、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

内田教育長

—異議なし—

それでは、特別の教科 道徳について投票を行います。投票用紙の配付をしてください。

内田教育長

—投票—

開票をお願いします。

教育指導課長兼
教育研究所長

—開票—

開票の結果を報告いたします。

飯田教育長職務代理「学研教育みらい」、高橋委員「学研教育みらい」、片山委員「学研教育みらい」、牛田委員「光村図書」、内田教育長「学研教育みらい」、特別の教科道徳につきましては、学研教育みらい4票、光村図書1票、以上です。

内田教育長

学研教育みらい4票、光村図書1票。

それでは、開票の結果、小学校特別の教科 道徳につきましては学研教育みらいに決定いたしました。

内田教育長

これまで各種目別に御審議をいただきまして、これですべて終了いたしました。

13種目すべての採択を終了いたしました。一覧表を作成い

ただいて、それを配付したうえで、これを採決いたしたいと思
います。

事務局のほうで議案としての資料を作成いたします時間を若
干いただきたいと思います。

暫時休憩とします。

—休憩—

内田教育長

再開いたします。傍聴者の方への資料配付をお願いします。

それでは、議案第17号「令和2年度に使用する小学校の教科
用図書の採択について」、ただいま御審議いただいたものを一覽
表にいたしました。説明をお願いいたします。

教育指導課長兼
教育研究所長

それでは、御審議いただいた結果を議案第17号として報告い
たします。

令和2年度に使用する小学校教科用図書について、種目発行者
の順で報告します。

国語「東京書籍」、書写「東京書籍」、社会「教育出版」、地
図「帝国書院」、算数「啓林館」、理科「啓林館」、生活「東京
書籍」、音楽「教育出版」、図画工作「開隆堂」、家庭「東京書
籍」、保健「東京書籍」、外国語「三省堂」、特別の教科道徳「学
研教育みらい」、以上です。

内田教育長

それでは、採決に移ります。

議案第17号「令和2年度に使用する小学校教科用図書の採択
について」、原案のとおり決することで御異議ございませんか。

—異議なし—

内田教育長

よって、議案第17号は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第18号「令和2年度に使用する中学校の教科用
図書の採択について」、提案理由の説明をお願いします。

教育指導課長兼
教育研究所長

令和2年度に使用する中学校の教科用図書について、お願いし
ます。

中学校教科用図書につきましては、無償措置法施行令第14条
により、平成28年度から平成31年度まで4年間は継続して同
一の教科書を採用しなければならないこととされていますが文
部科学省より「2020年度使用教科書の採択事務処理につい
て」の通知の中で、「平成30年度検定において新たに合格した
図書がなかった」ことと、「4年間の使用実績を踏まえつつ、平
成27年度採択における調査研究の内容等を活用することも考
えられること」という留意事項がありました。よって、前回の調
査結果をもとに、4年間の使用実績も加味し、採択検討委員会
にて検討され、継続するという結果が出されています。

また、中学校の特別の教科道徳に関しましては、昨年度採択しまして、平成31年度から2年間の採択となっております。

よって、令和2年度の中学校教科書は、今年度同様に、次のように報告します。

国語「東京書籍」、書写「東京書籍」、社会・地理的分野「帝国書院」、歴史的分野「清水書院」、公民的分野「東京書籍」、地図「帝国書院」、数学「啓林館」、理科「啓林館」、音楽・一般「教育芸術社」、器楽合奏「教育芸術社」、美術「日本文教出版」、保健体育「大修館」、技術家庭・技術分野「東京書籍」、家庭分野「東京書籍」、外国語英語「三省堂」、特別の教科道徳「教育出版」、以上です。

内田教育長

ただいまの提案につきまして、審議に入ります。御質問ないしは御意見があればお願いします。

—特になし—

内田教育長

それでは、採決に移ります。

議案第18号「令和2年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」は、原案のとおり決することによってよろしいでしょうか。

—異議なし—

内田教育長

よって、議案第18号は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第19号「令和2年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について」、提案理由の説明をお願いします。

教育指導課長兼
教育研究所長

令和2年度 附則第9条本についてですが、他の教科用図書と大きく性格が異なるものであります。

ここで説明させていただく教科書は、主に特別支援学校及び特別支援学級で学習をしている児童・生徒が使用するものであります。児童・生徒によっては、知的発達の遅れや、障害の状況によって、在籍する学年の教科書は、その児童・生徒の日頃の学習活動に沿わない場合があります。

こうした、状況の児童・生徒に対して、特別に編集されたものや一般図書を提供して、その児童・生徒の状況に合わせた教科用図書の使用を認めるものです。

手続き的には、小中学校の特別支援学級の担任が保護者と話し合い、必要があれば、保護者の了解を得て、児童・生徒の実態と共に必要な図書を選定し教育委員会に書類で報告します。

これを受けて、選定した図書が、本当にその児童・生徒の教科用図書としてふさわしいかどうか、教育委員会の指導主事が確認し、資料を作成いたします。

この資料をもって、教育委員会会議で承認された場合、児童・生徒が来年度使用できる教科用図書に認定され、来年4月に供給されることとなります。

以上です。

内田教育長

それでは、審議に入ります。御質問、御意見があればお願いします。

—特になし—

内田教育長

それでは、採決に移ります。

議案第19号「令和2年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について」は、原案のとおり決することで御異議ございませんか。

—異議なし—

内田教育長

よって、議案第19号は原案のとおり可決されました。

そのほか何かございますか。

—特になし—

内田教育長

それでは、以上で臨時教育委員会会議を終了いたします。